

1 会議名	令和3年度 第3回津市男女共同参画審議会
2 開催日時	令和4年2月10日(木) 午前10時～午前11時45分
3 開催場所	津市役所 庁議室
4 出席した者の氏名 (敬称略)	(津市男女共同参画審議会委員) 東福寺一郎会長、前山都子副会長、稲垣裕子、鵜飼みわ、笠井瑞穂、 佐藤ゆかり、瀧口嘉之、松林秀典 (事務局) 人権担当理事 松下康典 男女共同参画室長 藤田善樹 男女共同参画担当副主幹 渡邊登美子 男女共同参画担当主査 井口弘美 (欠席委員) 太田増一、金児美和子、森本和秀、山本久恵
5 内容	1 第4次津市男女共同参画基本計画策定に向けた市民意識調査 及び事業所調査調査結果報告書について 2 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	市民部男女共同参画室 電話番号 059-229-3103 E-mail 229-3103@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

事務局	<p>&lt;開 会&gt; お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただ今から令和3年度 第3回津市男女共同参画審議会を開催させていただきます。 本日は、ご多用のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>議事に入るまで進行役を務めさせていただきます男女共同参画室室長の藤田でございます。 よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず初めに人権担当理事より、御挨拶申し上げます。</p>
人権担当理事	<p>本日はご多忙のところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。 本日の議題は、「第4次男女共同参画基本計画」を策定するための基礎資料となります。男女共同参画に関する市民意識調査及び事業所調査の調査結果報告書について、でございます。 この報告書については、昨年9月に調査を実施し、事務局で集計を行い、その内容について、検討委員会でご検討いただき、報告書案として取りまとめたものでございます。ご協力いただきました検討委員会委員の皆様、誠にありがとうございました。 いよいよ来年度には、次期計画を策定いたします。そのための重要な基礎資料でございますので、皆様の忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<定足数、公開審議>

	<p>本日の審議会は、委員 12 名中、8 名の出席をいただいておりますので、津市男女共同参画推進条例第 18 条第 2 項の規定により成立しておりますことを、御報告いたします。</p> <p>なお、本審議会につきましては、津市情報公開条例第 22 条及び第 23 条の規定に基づき公開審議とし、議事録作成のため、録音と写真撮影をさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、会議に入ります前にお手元の資料確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事項書</li> <li>・資料 1 第 4 次津市男女共同参画基本計画策定業務 男女共同参画に関する市民意識調査及び事業所調査 調査結果報告書</li> <li>・資料 1 の目次ページ</li> </ul> <p>以上です。不足する資料はございませんか？</p> <p>それでは、議事進行を東福寺会長にお願いしたいと思います。</p> <p>東福寺会長、よろしくお願いたします。</p>
東福寺会長	<p>年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日の議題は先程にもありましたが、市民意識調査、事業所調査の報告書についてご審議いただきます。本日も忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。</p> <p><b>&lt;議 題 1&gt;</b>  <b>第 4 次津市男女共同参画基本計画策定に向けた市民意識調査及び事業所調査 調査結果報告書について</b></p> <p>議題 1 「第 4 次津市男女共同参画基本計画策定に向けた市民意識調査及び事業所調査 調査結果報告書について」です。</p> <p>令和 3 年 9 月に行った、市民意識調査、事業所調査の調査結果について、第 3 回検討委員会で検討した内容を踏まえたものを委員の皆さまへ事前にお配りしております。</p> <p>本日は、この報告書についてご審議いただき、内容を確定していきたいと考えております。</p> <p>それでは、この報告書の取り扱いについて、先に事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>概要をご説明します。報告書の 1 ページをご覧ください。</p> <p>この調査は「第 4 次津市男女共同参画基本計画」の策定にあたり、現在の男女共同参画の進捗状況を確認するとともに、市民の男女共同参画に関する意識・生活の現状及び事業所における男女共同参画の現状を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。</p> <p>令和 3 年 9 月 1 日から 9 月 21 日まで、郵送により調査し、市民への配布数は 3,000、回収数 1,011、回収率 33.7% 事業所への配布数は 694、回収数 312 回収率 45.0%でした。</p> <p>この報告書については、本日の審議を踏まえ、今月中には内容を確定し、市ホームページへの掲載にて市民へ公表していきたいと考えておりますので、ご審議のほどよろしくお願いたします。</p> <p>なお、お配りした資料について、目次ページについては、別添した資料が正しいページとなっております。表位置の若干のずれなど、各ページのレイアウトは現在調整中となっております。お見苦しい資料で申し訳ございませんが、文章、グラフの内容について、ご審議いただきますよう、お願いたします。</p>

東福寺会長	<p>それでは、早速、内容を確認していきたいと思います。 事前に資料をお配りしています。複数ページごとに確認を進めていきますので、ご意見がある方は発言をお願いいたします。</p> <p>まず最初に概要部分についてご意見をいただければと思います。1ページから11ページです。 笠井委員からお気づきの点を2枚に渡って頂戴しています。そちらの⑤になりますが、1ページの調査方法の部分を4と5をミックスして調査名を入れてはどうかと頂戴しました。この点も含めて検討します。</p>
笠井委員	<p>所用で遅刻する可能性があったのと、図表のことを申し上げたかったので、事前にお送りしました。 1ページのこの表ですが、4と5がミックスされたら見やすくなるかと思います。調査名も載せ、有効回答数の後に有効回収率があったらわかりやすいかと、そういう表現で入れました。</p>
東福寺会長	もしまとめるとしたら、「調査方法・回収状況」ですかね。
笠井委員	そうですね。 回収したものが有効だったかも必要かと思ひまして。
東福寺会長	回収した中に、無効はありましたか。
事務局	無効はありませんでした。
東福寺会長	有効回収率というのはどうですか
事務局	有効回答数は載せていますが、有効回収率ですか。回収率イコール有効回収率になりますので、有効であれば有効ですが。
東福寺会長	それであれば単に回収率でも。笠井委員のご意見を反映しても、回収率でいいでしょうか。
松林委員	そもそも無効がないのに有効回答数ってありますか。
事務局	結果的には一緒ですので、なくても通るかと思ひます。
松林委員	逆に表にせず、米印で全ての回答は有効なものでした、で済ませれば、数を増やすよりはいいのではないのかなと思ひます。
前山副会長	回収数と有効回答数は別になっていますけれども、有効回収率というのはどういう意味でしょうか。回収した数と、回答がその中で集計できないものを分けて書くということですが、確かに回収と意味が違うのではないかと私は思ひます。
事務局	例えば、次のページの2ページには参考で内閣府や三重県の状況も載っていますが、そこには有効回収率はなく、配布に対して回収がいくつ、回収率がいくつという数字が載っております。
東福寺会長	内閣府や三重県の場合は、無効のものは回収数から抜いているんですかね。
事務局	かもしれませんね。
東福寺会長	参考を見ると、今のこのままでいいのではないかと思ひます。よろしいですかね。他のご意見がなければ、提案どおりとさせていただきたいと思ひます。 他の1ページから11ページの間でいかがでしょうか。
鵜飼委員	かぎかつことかぎかつこの間に、点は必要ないのでしょうか。新聞を参考にすると、こういう時は点がないんです。それと何々での後のかぎかつこにも点がか

	たりするところもありますが、文章の流れでそうなっているのか。
事務局	例えば3ページで「①男女共同参画社会」、「⑩LGBT」のところ、これにつきましては、この審議会に出す前の検討委員会で検討していただく段階の資料では、この部分はかぎかっこがなく、その後わかりにくいとのことで、かぎかっこを入れてその間に全て点を入れました。点があるかないかについては、新聞のルールがわかりませんでしたので、あった方がわかりやすかと点を入れました。点を除いてかぎかっこを並べることも可能です。見やすいかどうかでご意見いただければと思います。
東福寺会長	津市の文書の扱いとしてはどうですか。
事務局	そこのルールは特になかったと思います。津市の広報ルールも確認します。前回の調査結果の表記は、かぎかっこが続く場合は、点は打っていません。 質問項目と選択項目を入れる際に、わかりやすくかぎかっこをつけ、並列させる際にわかりやすいかと点を入れた経緯です。しかし、今回は点がありません。
鶴飼委員	今、前半を見ていますが、後半になってくると点がないところが多くなってきます。
東福寺会長	では、ルールを確認していただいて、統一してください。 他にいかがでしょうか。
前山副会長	2か所気になる所があるので、確認させてください。7ページのドメスティックバイオレンスについての中でいろいろ原因があります。その中で「相談しても無駄」というのがひとつあったんですね、それが31.6%。調査結果ではほとんどのものが本人の、自分が我慢すればいいといったことでまとめてもらっているんですが、「相談しても無駄」というのは体制ですよね、職場の体制が整備されていない、というのをひとつ入れてもらったほうがいいのではないのかなと提案させていただいたのですが、このあたりのところをどう処理されたのかなというところと、もう1点ですが、11ページで小規模な事業所で10人以下と書いてありますが、20人以下でも27.5%あるので、10人以下と断定してしまうと、そちらへみなさんの意識がいつてしまうので、20人以下は27.5%、10人以下は37.5%と、入れた方がいいのではないのかなと、この2点を再考していただきたいと思います。
事務局	まず11ページのところですが、特に10人以下が4割近くになっていますので、それを強調するような記載になっています。ただご意見いただいたように、20人以下も27.5%というのも、3割近くあるという傾向はありますので、例えば10人以下は37.5%、11人から20人は27.5%となっていることから、と二つの理由をもって小規模な事業所ほど、というのと言えらると思いますので、書き加えたいと思います。 7ページは相談するほどではないというのは、自分の問題と社会の問題というのとはあると思います。自分さえ我慢すればなんとかやっていると聞いたから、というのが、会社の影響もあるのではないのかということですね。
前山副会長	皆さん自身の被害を過小評価する、個人の問題として受け取っていただいたので、ここに会社の体制の問題と入れていただきたいと思います。
事務局	調査から読み取れる結果として、個人の考えがそうだから、というのは読み取れるとは思いますが、だからイコール会社の問題ととらえられるのかというのが疑問に思いましたので、あえて、会社の体制や影響がというのは入れていません。結果からこうだと結果が導き出せるものは載せていますが、結果からこうだと思うからそうだよ、というのは載せるのがどうかと思いましたので。
東福寺会長	前山さんが言われるように、相談しても無駄だからというのが、前回よりだいぶ増えてますね。
前山副会長	そうですね。

東福寺会長	それは体制の問題だと。
前山副会長	結論付けなければいけないのか、というのがありますね。事実を抜き出して載せるのもありかなと思います。確かに、憶測ではできないので。私は「過小評価するとともに、相談しても無駄という結果が 31.6%ある」といったように付け加えていただければと思いました。
事務局	職場の体制や、といった言葉にしましょうか。
前山副会長	断定はできないですね。
事務局	断定することは難しいですね。
松林委員	一番最後に付け加えたらどうですか。「一方被害を相談したという割合が 2 割を超えています」というところを、「2 割を超えているものの、相談しても無駄という意見が 31.6%あるという事実もあります」や「あるといった結果が出ています」といった形にすれば、どこに相談したらいいかわからない、というのも含めて付けれるのではないかと思います。前に入れてしまうと、そこに断定されてしまいますが、後ろであれば、相談している人もいるけど、できないという人もいるんだという形にすれば、文章としてまとまるのではないのでしょうか。
事務局	このページの上から 4 行目の、被害者が相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」が 49.1%を占めており、被害を過小評価する傾向がみられると。最後から 2 つ目、一方被害を「友人、知人に相談した、「家族や親戚に相談した」の身近な人に相談した割合が 2 割を超えています、という表現にするか。
松林委員	相談しても無駄という意見が 3 割近くあるとおおり、という表現ですかね。
事務局	自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った、相談しても無駄という人が 3 割を占めており、という表現でしょうか。
松林委員	相談体制の整備も必要であると考え、というような感じですかね。
事務局	相談体制の整備も求められます、とか。そういうまとめでいいのでしょうか。
東福寺会長	ここに入れることにして、表現をまた考えてもらえますか。
事務局	直接的に会社の影響だからと言わずに、相談体制の整備も必要と思われるといった表現で考えてみます。
東福寺会長	会社だけではないですものね。DV ですから。
松林委員	どこに相談していいのかわからないということですね。
事務局	会社などに限定せず、相談体制の整備などといった、大括りにした表現で考えてみます。
東福寺会長	<p>前回に比べて 17 ポイント増えているところも。 今の部分を入れるということにします。 他はよろしいでしょうか。</p> <p>では続いて 12~14 ページ、回答者の属性についてです。 何かありましたらお願いします。</p> <p>ここで、笠井委員からいくつか他のこともありますが、棒グラフの色分けについて斜線模様や四角模様が入っていて見づらいというご意見をいただきまして、下に一つ提示していただきました。</p>

事務局	笠井委員からより見やすくなるようにご意見いただきました。事務局でも色々考えましたが、実はこちらの作業工程の関係で、表がたくさんありますが、すべて表を作成した段階で、どの部分をどの色にするのかを指定して作成し、貼り付けしていきます。色を根本から変える場合、表を作り変えて貼る作業になりますが、原案を作る際に1月半くらいかかりまして、大きな直しになってしまいます。確かに見やすさはあるのですが、前回の表の色合いを引き継いだのもありまして、工程上できるかどうかがとても難しいです。いただいたご意見は次回5年後に検討させていただきます。今回はこのままでお願いしたいです。
笠井委員	では5年後にお願いします。
東福寺会長	では続いて15～32ページの男女共同参画全般についてです。
笠井委員	15ページの3～4行目リプロダクティブ・ヘルス/ライツですが、これも後ろにかっこでふさわしい言葉や意味をいれてはどうでしょうか。例えばポジティブ・アクションには積極的改善措置と説明が書かれているので、それに合わせて入れてはどうでしょうか。言葉を選ぶのが難しいので書いていないのかもしれませんが、自分で調べた方が記憶には残るので、そちらのほうがいいのかもかもしれませんが、他のものにかっこがきかされているのであったら、ワーク・ライフ・バランスも書いてもらってあります。これを付けないのであれば、すべてに付けない方が揃うと思います。
東福寺会長	これは調査項目ですね。
事務局	かっこの文字ですが、下の表で載っている①～⑩の項目になりまして、調査票の質問項目をそのまま使っています。ワーク・ライフ・バランスであれば⑨ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調査）という選択肢をそのまま載せています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツについてはかっこが入った選択肢ではありませんでしたので、ルール上入れていません。
笠井委員	調査の時から入れていなければいけなかったということでしょうか。
事務局	調査時には別に用語解説のページで解説がされています。調査票自体もこの報告書の最後のページには載せますが、非常に難しい言葉ではありますので、このページの欄外に載せることはできるかと思います。
笠井委員	他はかっこ書きがあるのに、これだけがないのがどうかなと思いましたので言いましたが、わざわざ下に意味を書いてもらう必要はないです。
人権担当理事	上は解説文なので、かっこ書きで解説を入れます。
東福寺会長	本文とは別に注意書きを入れますか？
事務局	それも可能です。理事が言いましたのは、解説文にかっこ書きで入れたらどうかということでしたが、欄外に注意書きで入れることも可能です。
東福寺会長	書くとしたら欄外に入れたらいいのではないのでしょうか。重要な言葉ですし、調査票を見ればわかることなのですが、説明はあったほうがいいと思います。では欄外に注釈を入れます。
前山副会長	その話ですと、皆さんに聞くと、意外とジェンダーギャップ指数も知らないんですよ。なので、これもこれもと言い出すときりがないと思います。できれば一番下に調査票の解説ページをご覧くださいと載せるのはどうですか。
事務局	調査票が、とても細かく、1ページに2ページ分を載せますので、解説の部分はとても細かくなります。
笠井委員	欄外なら、私は不要だと思います。ただ、他の項目に比べたら、ということとし

	たので、言葉の意味は欄外に入れる必要はないかと思います。
松林委員	このページに誤字を見つけました。上のワーク・ライフ・バランス、仕事と生活の調査を調和をお願いします。
事務局	修正します。
東福寺会長	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの部分はなしでよろしいでしょうか。では、それをお願いします。 その他いかがでしょうか。 では、33 ページから 49 ページにかけて、問 6～問 12 になります。ご意見等をお願いします。 笠井委員から 45 ページなどのグラフに関するご意見をいただいておりますが、事務局をお願いします。
事務局	このグラフについて、色合いをわかりやすいようにする、パーセントの割合がわかりやすいように、報告書案にはありませんが、縦線を入れたほうが見やすいとのご意見をいただきました。これにつきましては、先程のグラフと同じなのですが、グラフを作成して作り直しとなります。すべてではなく限定にはなりますので、縦線は入れられるかとは思っていますが、作業の関係で、できるかどうかは申し上げられません。一度検討してみて、可能であればさせていただきたいと思っております。難しいようであれば、そのままですべてさせていただくことになるかと思っております。
東福寺会長	やってみて、うまくいけば直し、難しければこのままでということ。 その他の部分でいかがでしょうか。 ご意見ないようですので、先へ進みたいと思っております。 50 ページから 65 ページ、問 13～20 仕事についてにご意見等ありますでしょうか。
鵜飼委員	50 ページの、「前回調査と比較すると」とありますが、「前回調査と比較した場合」に変えたほうがいいのではないのでしょうか。
東福寺会長	「比較すると」の方がいいかと思います。
鵜飼委員	わかりました。
稲垣委員	52 ページの中には、「専業主夫・専業主婦」と夫、婦になっています。もともとのアンケートがこれであればいいと思っておりますが、57 ページのグラフの一番上「結婚したら専業主婦（夫）となっていて、表現が逆転しているの、質問項目がそのままであればいいのですが、そのあたり統一したほうがよかったかと思っております。一般的には専業主婦の方が使われるかなと思っております。
事務局	専業主夫、専業主婦の表現ですが、調査票の表現をそのまま載せた形になります。
東福寺会長	夫が先になっているんですね。
事務局	52 ページについては夫が先になっています。次回の選択肢を考える際には、調整します。
東福寺会長	では、このままで進めてください。 他はいかがでしょう。 では続いて 66 ページから 73 ページ、問 21 から問 23、ドメスティック・バイオレンスについて、何かございますでしょうか。
稲垣委員	確かにこの表、目がチカチカしますね。多い部分に斜めの模様が入っているの、そこだけでも白くていいかと思っておりますね。他の部分は項目が多いのでいいのですが、ここは斜めの模様がチカチカします。
佐藤委員	ここだけでも変えますか？

稲垣委員	66 から 69 ページですね。69 ページの⑥その他、無回答の白も際立っています。無回答が目立っても仕方がないかと思います。
事務局	表ですが、属性の様子は、1つ目が格子状、2つ目が網掛け、3つ目が右下への斜線、無回答が白といったルールで全体を作っております。例えば 66 ページの表であれば、3つ目の右斜め斜線が 90%以上で非常にチカチカして見にくいというのがありますので、そこだけ変えるということは可能です。しかし、他に影響が出てれば、作業上難しいです。
東福寺会長	70 ページ以降もありますね。
事務局	3つ目が右斜め斜線というルールが駄目なのかもしれませんが。
東福寺会長	これを直すとまたミスができるかもしれませんね。
稲垣委員	そうですね、やめましょう。
東福寺会長	では次の課題として。
笠井委員	例えばグラデーションというのは、左から白からだんだん濃くなっていくのが一番心地よいと思います。これ以上濃さでは表現できないなというところで、初めて斜めだったり、ドットや四角の柄を入れると、見やすいものになると思いますので、5年後お願いします。
東福寺会長	事務局へ、次回の課題としてお願いします。 他はよろしいでしょうか。  では続いて、74～84 ページ、問 24～27、ハラスメントについて、行政の取組みについてに移ります。 笠井委員からご意見いただいております、84 ページの棒グラフにずれが生じているとのことです。
事務局	84 ページ、117 ページの表内、文字と棒グラフの上下がずれているというご指摘をいただきました。これにつきましては、文字を上から貼り付けている都合で、ずれが生じていますが、極力ずれがないように修正します。
笠井委員	57 ページもお願いします。これも上下がずれています。印刷した都合かなとも思いましたが。
事務局	テキストボックスで文字を貼り付けしていますので、そのずれになります。
東福寺会長	ご指摘いただいた部分以外も確認してください。
事務局	わかりました。
東福寺会長	それ以外でいかがですか。 では、市民意識調査は以上です。 続いて事業所調査に移ります。84～97 ページ、問 1～12、事業所の概要について、育児休業・介護休業について、ご意見を頂戴します。
事務局	94 ページですが、一番上の属性とマークが重複しています。修正します。
東福寺会長	89 ページ一番上ですが、「問 5 で女性管理職がない場合に、」と読点がありますが、調査票そのままでしょうか。
事務局	そのままになります。



前山副会長	97 ページ下のグラフの「単位」ですが、これ以降は今までの部分より文字サイズが大きいです。
東福寺会長	全体を通して確認してください。
事務局	同じサイズに調整します。
東福寺会長	よろしいでしょうか。 では、続けて 98～109 ページ、問 13～20、女性従業員の就労について、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、ご意見をお願いします。
松林委員	100 ページと 108 ページの間の枠が消えているので、整えてください。
事務局	調整します。
松林委員	全体のグラフについて言えるかと思いますが、棒グラフ、例えば少し先ですが 116 ページの一番下の棒グラフだと、無回答が 0 なのかな。1.1 が右から 2 番目に、2.1 が一番右に対応していると思いますが、あまりにも細かいのが多くなってくると、グラフの位置と数字の位置が全く違うとことになっていて、どれがどこを指しているがわからなくなっています。上のセクシャル・ハラスメント、無回答とある凡例の横に数字を入れてしまったほうが、見やすいのではないのでしょうか。全体を見ていて、これはどのグラフなんだろうと違和感を感じていました。何か方法がないかと。
稲垣委員	見出しみたいにして示す方法もありますよね。
松林委員	ただ、これだけのグラフの量があると、矢印をつけてしまうと、わかりにくくなるかと思うので、ここの数字はこれですよ、という表記できるといいと思います。真ん中あたりで、どれがどれ？という表記がいくつかありましたので。
事務局	非常に小さい数字のグラフの入れ方ですが、グラフを作る際に、例えば 1%未満の数字が続くようなものは表の中に入れることができず、外に出すか、どこかに書くかしかないのですが、矢印を入れて表示するとかも試しましたが、矢印を使うとそこが目立ってしまい、非常に見にくくなってしまい、前回の調査でも細かい数字が続く場合は順番にその数字を載せている、表とずれて表示をしています。色々検討をした結果、数字を載せないのはできないので、今の表示をさせていただいています。
松林委員	難しいのは重々承知で聞きました。
東福寺会長	この表はパタニティ・ハラスメントはなかったんですか。
事務局	そうですね。0%については、グラフにも数字にも出てきません。
東福寺会長	そういうのはいくつかあるのですか。
事務局	あります。凡例には出てくるが、グラフには出てこない、0%も出てこないものが多々あります。
東福寺会長	少ないのであれば 0%を入れてもいいかと思いましたが。
松林委員	あと、複数回答ありで、こういうグラフで 100%で書いているところもあります。数字を足すと明らかに 120%くらいになっていますので。
東福寺会長	この表はおかしいですね。
佐藤委員	棒グラフはどうですか。

事務局	他の複数回答可の表は棒グラフになっています。問 25 のグラフは修正します。
東福寺会長	では、110～119 ページ、問 21～28、男女がともに活躍できる職場づくりについて、さまざまなハラスメント対策について、その他について伺います。 笠井委員から 117 ページのグラフについてご指摘いただいています。
笠井委員	48 ページのグラフはグレーになっていますが、117 ページは四角模様になっていますので、統一したほうがいいのかと思います。
事務局	48 ページのグラフは県の調査を参考で載せています。市の調査については格子柄になっており、他機関の調査についてはグレーとなっています。 ご指摘いただいたグレーに変更というのも、先程のグラフの色を変えるのと同じで難しいので、次回への課題とさせていただきたいです。
笠井委員	はい。
東福寺会長	その他のご意見をお願いします。よろしいでしょうか。
事務局	120 ページ以降については、自由意見の部分をピックアップしたものを原文のまま載せたものになります。
佐藤委員	原文のままといっても、誤字は修正したほうがいいのかと思います。120 ページの男性 30～39 歳の 3 つ目の意見 “の向きが逆の部分が 3 か所あります。121 ページの女性 20～29 歳の最初、「子どもを生みたい」は出産の産に直してほしいです。
稲垣委員	122 ページの下から 3 行目「サービズ」は「サービス」だと思います。
鵜飼委員	122 ページの女性 30～39 歳の 4 つめの項目、「思ってします」は「思っています」だと思います。あと 2 つ下の意見でワークライフ・バランスの・が抜けています。
稲垣委員	先程の「思ってします」は「思ってしまいます」ではないでしょうか。
事務局	原文を確認します。
松林委員	120 ページの男性 20～29 歳の男女共同となっていますが、参画まで入っていないのではないかと思いますので、ご確認をお願いします。
事務局	はい。
鵜飼委員	122 ページの女性 30～29 歳の、看護師の師はこの字でよかったですでしょうか。
東福寺会長	はい。
鵜飼委員	124 ページの一番下も、佐藤委員のご指摘の “ですね。
佐藤委員	125 ページの一番上も同じ間違いです。 先程ご指摘のあった、120 ページの男女共同ですが、もし原文が男女共同であればそのままにしてもらった方がいいと思います。男女共同参画のことを男女参加とか言い間違いをする方もみえますので、この方が男女共同と言ってみえるのであれば、まだ男女共同参画という言葉が根付いていないんだということで、そのままにしてほしいです。
前山副会長	この人の思いかもしれませんね。
東福寺会長	原文を確認してください。
稲垣委員	123 ページの下から 4 つ目の「子どもが働くには絶対にまわりのサポートがいる」とありますが、読んでみると子どもが働いている文面ではなく、子どもがいて働い

	<p>ているという文面だと思います。原文がどうなのかですが、原文ままだとこれは取り上げていいのかなと思います。</p>
佐藤委員	<p>かっこして補うかですかね。「(いて)」というふうに。</p>
稲垣委員	<p>字幕なんかで文章足りないとそういう風に出てきたりするので、多分そういう文章の流れだと思います。違うまま載せるのもそれはそれで意思かもしれませんが、元々の文章と違うのであれば直してあげないと、これ全然違う話に見えてしまう気がします。</p>
東福寺会長	<p>原文まま、と書くのがありますね。 これも原文を確認してください。原文によってはかっこ書きを入れて意味が通じるようにしてください。</p>
稲垣委員	<p>たくさん載せるのも大事ですが、わざわざ間違った内容を載せなくてもいいと思います。選ぶ基準はあるのですか。</p>
事務局	<p>ご意見的なものを中心に、全部ではありませんが、そんなに外してはいません。同じようなご意見は整理していますが、極力載せるようにはしています。</p>
稲垣委員	<p>ホームページに載って、市民の方が読んだ時に、文面が伝わらないものを載せる必要はないのかなと思いますし、修正する必要があるのであればかっこ書きで修正するなり、原文ままと書くなりしてあげないと、せっかくの意見が台無しになると思います。</p>
事務局	<p>全体的に誤字脱字についてはもう一度確認して修正させていただきます。文面で「子どもが働く」というのは確かに意味が通りませんので、これについては原文を見て、意味合いが通じるように直るか検討して、あるいは削除します。そこは文章としてつじつまが通じるよう、かつ、変えたことで本人の思いが変わってしまっただけいけないので、そこは両方バランスを取って整理をしたいと思います。</p>
前山委員	<p>読めばわかりますので、リアル体験はかっこで直して載せてほしいです。</p>
東福寺会長	<p>以上、分けてお伺いしましたけれども、全体通して何かありましたらご意見お願いします。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。 本日、頂きましたご意見を踏まえ、最終的なとりまとめについては、会長、副会長に一任していただきたいと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、私と副会長で取りまとめをさせていただき、報告書の確定版を全委員の皆様へ送付させていただきます。 その上で、市ホームページへの掲載、冊子の配布にて市民へ公表していくこととします。</p> <p>他にご意見やご質問はございませんか？ ないようですので、次の議題へ移ります。</p> <p><b>&lt;議 題 2&gt;</b> <b>その他</b> それでは続きまして、議題2「その他」です。事務局より発言がありますので、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>来年度について、簡単ですがご説明させていただきます。 来年度は、「令和3年度実施状況報告」の審議に加え、令和5年度からの「第4次津市男女共同参画基本計画」の策定を行います。</p>

	<p>第3次基本計画における現状の把握、分析や課題点の抽出、市民意識調査結果の課題分析、庁内の担当課との調整などにより、計画策定を進めてまいります。</p> <p>スケジュールとしましては、1月までに審議会を3回、検討委員会を5回開催します。11月に市議会へ案を提出、パブリックコメントの結果も反映し、来年1月に市長へ第4次計画についての答申を行い、最終案を決定します。詳しいスケジュールについては、来年度第1回の審議会でご説明いたしますが、審議員の皆さまには多大なご協力をお願いすることとなりますので、よろしくお願いいたします。</p>
東福寺会長	ただ今の説明について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。
前山副会長	今度は両方ありますから、回数が多いんですね。例えばそろそろオンラインをできないかなと思っています。みなさんの日程を合わせるのも大変で、オンラインなら参加できるという方もみえるかと思い、ご一考いただいてもいいかと思っています。
事務局	オンラインについては考えておりますが、市として、システム環境が整っておりません。県の会議で県内の市町が参加してのオンライン会議は参加できるのですが、市がホストとなつての会議は全庁的にどこもできていません。これは私たちもいけないとは思っていて、やりたいとは思っていますが、今はこのような状況です。
前山副会長	システムは整っているけれど事例がないので駄目なのか、システム上整っていないのかどちらですか。
事務局	システム環境が整っていない状況です。非常に遅れていると思います。
前山副会長	ぜひ進めていただきたいと思います。去年もこんな話をしたような気もしますが。
東福寺会長	システムはそんなにむずかしいですか。
事務局	会議をするのにソフトや機械が必要かと思いますが、パソコンひとつについても現在我々のデスクのパソコンを使ってできるかという点、できません。ホストとして発信するというシステムが整っておらず、そこがネックになっています。時代が時代ですので、そうも言ってもらえないと思いますが、担当予算の枠内でどうにかなるものでもなく、現状このような状態です。
前山副会長	デジタル化とも言いますし、ぜひお願いします。
佐藤委員	第1回は4月、5月どちらでしょう。二本立てなので、できるだけ早く初めておいた方がいいかと思いますが。
事務局	<p>案の作成状況にもよりますので、あまり早くにはできないかとは思いますが。ある程度整った時期にさせていただこうかと思っています。</p> <p>計画もそうですが、前年度の実施状況も原課に照会をして、回答をもらってとなりますので、4月早々というのは難しいかと思いますが、なるべく早くにするようにさせていただきます。</p>
東福寺会長	<p>他はよろしいでしょうか。</p> <p>では最後に、せっかくの機会ですので、全体を通じてご意見や感想などございましたら頂戴したいと思います。</p> <p>今回の市議会議員選挙で女性の議員は何名だったんですか。</p>
事務局	7名です。1名減りまして、20%くらいになりました。
東福寺会長	増えませんね。
事務局	そうですね、それくらいで推移しています。
稲垣委員	前も言いましたけど、この調査を市でここまでするのがとても大変だと思います。

	アンケートをたくさん送付して回収して、データを打ち込むのも気の遠くなる作業だと思いますし、これだけまとめるのも、かなりの労働力です。みなさんの思いが詰まっているものになりますので、作って、ホームページにあげるとというのが一連の作業だとは思いますが、この書いていただいた思いやアンケートをどう次の計画に移していくのが一番大切だと思います。もちろんきちんとしたものを出すために色々な意見を出して、誤字脱字に気を付けてとやっていますが、仕上げたものを次の市政につなげないと意味がないと強く思います。それが私たちに求められていることだと思いますし、市民の方の思いがあると思いますので、そこが叶えられるといいと思います。
東福寺会長	ありがとうございます。また来年、新たな計画のために色々なご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
前山副会長	調査票を拝見しまして、20代の方の回答は少ないのですが、20代、30代の方の回答と明らかに他の世代と全然違うんですね。私たちが声を聞くというのは、一般的には役職のある方のほうに行ってしまうかもしれないのですが、一番活躍していただきたい層の意見を取り入れた案を作っていく方が、将来に向けてはいいのではないかと考えています。同じことを言ったり、同じことをやって無理だったりというのではなく、誰が一番活躍していもらなければいけないのかを考えて、そちらに焦点を当てた方がいいのではないかと思います。色々な部署の意見を聞いていただく、これはいいのですが、的を絞って取り上げてそれを進めたほうが具体化するのでは、効果が出るのではないかと考えていますので、来年度はそのあたりも考えて取り組んでいただければと思います。
東福寺会長	なかなか若い方の意見を聞く機会がありませんので、難しいかもしれませんが、例えば高校生や大学生の意見を聞く機会が1回でもあればいいと思います。県の委員会がありますね。
前山副会長	企業も以前は40代を戦力にしたいという話が多かったのですが、最近は20代後半と30代前半を鍛えてほしいとおっしゃいます。また、男性女性関わらず、20代前半の方とも関わりますが、考えがまったく違うんですね。ここにあるように、男性の20代も女性の20代も差別のない一緒に共同するような社会にしたいとはっきり書いてみえますので、学生もそうですが、今実際に働いている人たちの声を聞けるという機会があればいいと思います。
東福寺会長	では、本日、予定しておりました議題はすべて終了いたしました。委員の皆様には、スムーズな会議進行にご協力ありがとうございました。 これを持ちまして、第3回津市男女共同参画審議会の審議を終了いたします。 それでは、進行を事務局へお返しします。
事務局	東福寺会長、議事運営ありがとうございました。 委員の皆様、長時間にわたりありがとうございました。 本日いただきましたご意見を踏まえまして、この報告書を3月中には仕上げまして、公表いたします。本日はありがとうございました。